



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	(仮称)ひんダイホビーセンター新工場	BEE	1.7	BEEランク	A	★★★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>						
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.0	/5	よい			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.5	/5	ふつう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0	/5	よい			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.6	/5	ふつう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	4.0			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>④壁:PB下地ビニールクロス:20年、天井:岩綿吸音板:30年</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨[BE1][BEIm]=0.5</li> <li>⑩建物全体のエネルギー消費量の目標値が計画され、提示している</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪擬音装置を設置している</li> <li>⑪雨水利用を計画している</li> <li>⑫①断熱材②ビニール床タイル③OAフロア</li> <li>⑫木材は全面的に針葉樹材の使用</li> <li>⑬乾式で構成し、躯体と主要仕上げ材の分別が可能である</li> <li>⑬断熱材にはOPD.0かつGWP:1を使用している</li> <li>⑬CO2冷媒冷凍機を使用している</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭自動計算(スコア3.9)</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2	①	外皮性能			
	Q-1 3 3.1 3.1.3	②	昼光利用設備			
	3.2 3.2.1	③	昼光制御			
	Q-2 2 2.2 2.2.1	④	躯体材料の耐用年数			
2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔				
2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔				
2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔				
Q-3 1	⑤	生物環境の保全と創出				
3 3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上				
LR-1 1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
2	⑧	自然エネルギー利用				
3	⑨	設備システムの高効率化				
4 4.1	⑩	モニタリング				
4.2	⑩	運用管理体制				
LR-2 1 1.1	⑪	節水				
1.2 1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無				
1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無				
2 2.1	⑫	材料使用量の削減				
2.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用				
2.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
2.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
2.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材				
2.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
3 3.1	⑬	有害物質を含まない材料の使用				
3.2 3.2.1	⑬	消火剤				
3.2.2	⑬	断熱材				
3.2.3	⑬	冷媒				
LR-3 1	⑭	地球温暖化への配慮				
2 2.2	⑮	温熱環境悪化の改善				
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	3.5			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑰換気設備の系統区分と吊配管を行っている</li> <li>⑰雨水利用、受水槽に蛇口を設置</li> <li>⑰耐震クラスS</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯	耐震性			
	2.1.2	⑯	免震・制振性能			
	2.4 2.4.1	⑰	空調・換気設備			
	2.4.2	⑰	給排水・衛生設備			
	2.4.3	⑰	電気設備			
	2.4.4	⑰	機械・配管支持方法			
2.4.5	⑰	通信・情報設備				
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	4.0			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳階高:4.200</li> <li>⑳壁長さ比率:0.04</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画			
	3 3.1 3.1.1	⑳	階高のゆとり			
	3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ			
Q-3 3 3.1	㉑	地域性への配慮、快適性の向上				
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	3.6			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■敷地外環境対策 (㉒持続可能な森林から産出された木材/㉒温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉒木材は全面的に針葉樹材の使用</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1	⑤	生物環境の保全と創出			
	2	②	まちなみ景観への配慮			
	3 3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上			
LR-2 2 2.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材				
LR-3 2 2.2	⑮	温熱環境悪化の改善				

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パンダイホビーセンター新工場	階数	地上3F
建設地	静岡県静岡市葵区長沼500-15	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	172 人
地域区分	7地域	年間使用時間	5,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年10月6日
敷地面積	14,742 m <sup>2</sup>	作成者	水田 航平
建築面積	9,177 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	18,209 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
生産体制向上の為、既設工場棟敷地に近隣する新たな敷地への工場棟新設計画である。敷地内においては、隣地周辺緑化及び屋上緑化とした緑を積極的に取り入れ、セットバックを大きく取ることで圧迫感を与えないよう地域環境に配慮している。工員と工場見学者の動線を明確に区分し、共存のアメニティ空間であると共に快適な労働環境を長期に維持・利用できる建物として計画している。これは、CASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。	
<b>Q1 室内環境</b> (工場用途の為、室内環境配慮の対象外)	<b>Q2 サービス性能</b> 内装仕上げ材には、耐用年数の長い部材を使用している。雨水利用や受水槽に水道の蛇口を設置等、災害時の飲料水確保に配慮している。また、いずれの設備の更新・修繕もほとんど仕上げ材を痛めることなく済むよう考慮して
<b>LR1 エネルギー</b> 設備システムの効率化において高い水準を確保し、建物全体のエネルギー消費量の目標値を計画することによって運用時の管理体制を整えている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 屋上に緑を積極的に取り入れ、場内カフェテリアを屋上カフェテリアに隣接して設けることによって開放的な内部空間に繋がり、場内環境に配慮している。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 非再生資源の使用量を削減として部材の再利用可能性向上に取り組んでおり、環境への配慮としては、ノンフロンかつ地球温暖化係数の低い発泡断熱材を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 交通負荷抑制として平場駐車場と駐輪場を適切に配置し、十分な駐車スペースを確保している。場内への出入り口の位置や形状も適切に配置して、敷地外への影響を極力少なくするよう努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される